



学校だより
【7月9日号】

学校の様子⑨ 繋がり①町探検ボランティア 繋がり②学習支援ボランティア

学校が完全再開となり、1か月がたちました。子どもたちもようやく学校生活のリズムが掴めてきたようです。外部から講師の方々や学校支援ボランティアの方々に来ていただくことが可能となりました。早速、2年生の町探検にたくさんの保護者やボランティアの方が来てくださいました。また、7/2(木)には、朝学習にボランティアの方が来てくださり、プリントの丸つけをしてくださいました。こういった**繋がり**があるからこそ安心して校外学習に出かけることができたり子どもたちの学力向上に向けた取組を行うことができたりします。ありがとうございます。



校長室より⑩ くすの葉活動

先月から友だちのやさしさやがんばりを感じたり見つけたりしたことをくすの葉に記す活動に取り組んでいます。7/3(金)現在で520枚になり、左の写真のように壁一面、くすの木に葉が茂りました。この活動を一年間続けていくことで優しさや思いやりでいっぱい为学校に、友だちのがんばりや良さをわかる子どもたちに育ててほしいと思っています。

校長室より⑪ 今月の品格教育は“正直”

今月の品格教育の目標は正直です。放送朝礼では、イソップ物語の“金の斧銀の斧”について紙芝居をし、損得だけでなく、たとえ損をしても自分の心に正直に生きていこうと話しました。学級でも品格教育と道徳科の授業をリンクさせ、正直について学習しています。自分自身を見つめる良い機会としてご家庭でも話題にしてみてください。



学校の様子⑩ だまってそうじ

6月中は学級そうじを行っていましたが、7月からは縦割りそうじを行っています。この間“だまってそうじ”をめあてにがんばりました。トイレそうじは放課後職員でしており、その分通常より1か所のそうじの人数が増えていました。そのせいもあってか、なかなかだまってそうじをすることができていませんでした。1か月間教職員が粘り強く声をかけ、率先して“だまってそうじ”の模範を示すことでだまってそうじをする児童が増えてきました。まだまだ集団として高まっていけると思います。決して現状に満足することなくオールそうじゃみんなですらなる高みをめざしていきたいと思ひます。

